

AXIS W102 Body Worn Camera

ユーザーマニュアル

AXIS W102 Body Worn Camera

Axis装着式ソリューション

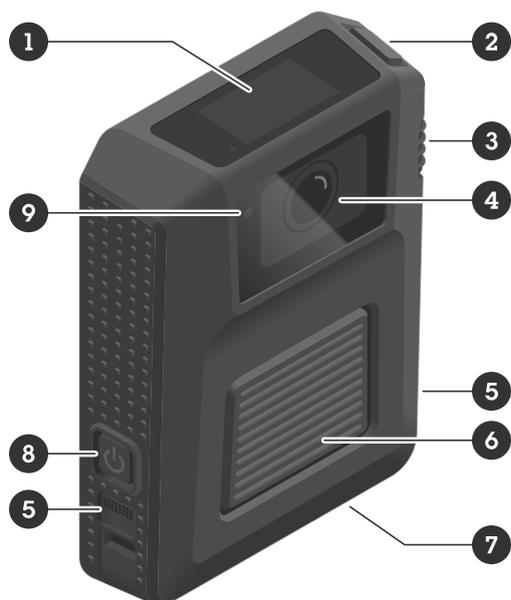
Axis装着式ソリューション

Axis装着式ソリューション全体の詳しい説明については、*Axis装着式ユーザーマニュアル*を参照してください。

AXIS W102 Body Worn Camera

製品の概要

製品の概要



- 1 ディスプレイ
- 2 トップボタン
- 3 機能ボタン
- 4 カメラレンズ
- 5 マイクロフォン (×2)
- 6 録画ボタン
- 7 USBコネクタ
- 8 電源ボタン
- 9 フロント録画インジケータ

AXIS W102 Body Worn Camera

製品の概要

ディスプレイ



1	録画LED	カメラが録画しているときは、赤色に点灯。
2	ステータスLED	カメラが使用または録画の準備が整った状態にあるとき、緑色に点灯。カメラが録画できないとき、黄色に点灯。

ドッキング時のアイコン	説明
	カメラがドッキングされています。
	バッテリーが充電中です。色は、バッテリーが充電中か充電済みかを示します。進行状況バーおよび充電レベル(パーセント)と組み合わせられます。
	ユーザーがカメラに割り当てられています。
	ユーザーがカメラに割り当てられていません。
	カメラのソフトウェアのアップグレードが進行中です。進行状況バーと組み合わせられます。
	カメラを装着式システムに追加できませんでした。
	コンテンツ送信先へのデータ転送が進行中です。進行状況バーと組み合わせられます。
	黄色の点滅: カメラが装着式システムに追加されていません。赤色: システムコントローラーへの接続がありません。

AXIS W102 Body Worn Camera

製品の概要

操作中のアイコン	説明
	バッテリーの充電レベル。色は充電レベルによって異なります。
	バッテリーが充電中です。
	使用されているローカルストレージの容量。色は空き容量によって異なります。
	ホルスターセンサー接続。
	ホルスターセンサーのバッテリー充電レベル。
	AXIS Body Worn Assistant接続。
	装着式ミニセンサー接続。
	マイクがオフになっている。
	AXIS Body Worn Live接続。
	GPS座標。
	Wi-Fi®接続。
	カメラが動作していない。

AXIS W102 Body Worn Camera

日常的な使用

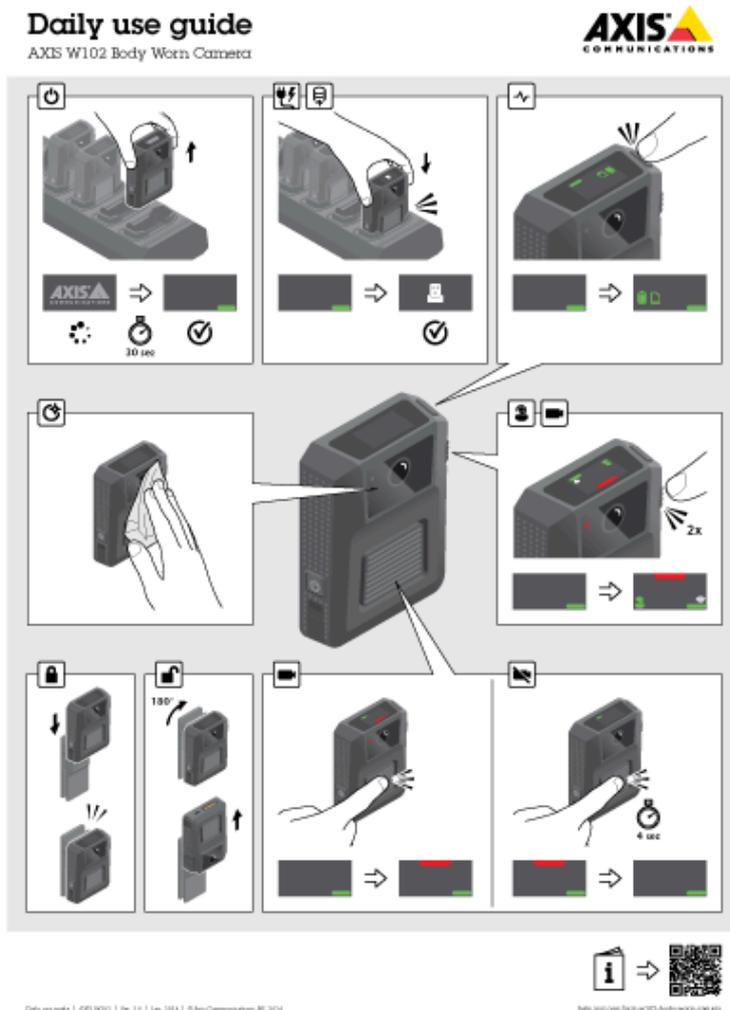
日常的な使用

目的のアクション	必要なアクション	情報
カメラをオンにする	電源ボタンを押します。	カメラが振動し、ブープ音が鳴ります。起動中、AXIS Communicationsのロゴが表示されます。カメラが使用可能な状態になると、ステータスLEDが緑色に変わります。設定により、これには最長で30秒かかります。
カメラをオフにする	電源ボタンを5秒以上押し続けます。	カメラが振動し、ブープ音が鳴ります。
録画を開始する	録画ボタンを1回押します。これは、AXIS Body Worn Managerで設定可能です。	録画が開始されると、カメラが振動してブープ音が鳴り、前面の録画インジケータと録画LEDがオンになります。これは、AXIS Body Worn Managerで設定可能です。
録画を停止する	録画ボタンを4秒以上押し続けます。	録画が停止すると、カメラが振動してブープ音が鳴ります。
ライブストリームの開始	機能ボタンを2回押します。	詳細については、 <i>AXIS Body Worn Live</i> ユーザーマニュアルを参照してください。
ライブストリームの停止	録画ボタンを4秒以上押し続けます。	
ブックマークを作成する	録画中に録画ボタンを1回押します。	使用しているコンテンツ送信先が機能をサポートしている場合、この機能を使用できます。詳しくは、ブックマークを参照してください。
マイクをオフにする (音声はデフォルトでオン)	機能ボタンを3秒以上押し続けます。	マイクアイコンがオンになります。
マイクをオンにする	機能ボタンを3秒以上押し続けます。	マイクアイコンがオフになります。
サイレントモードをオンにする	トップボタンを3秒以上押し続けます。	ディスプレイ、前面の録画インジケータ、ブープ音、振動がオフになります。
サイレントモードをオフにする	トップボタンを3秒以上押し続けます。	ディスプレイ、前面の録画インジケータ、ブープ音、振動がオンになります。
バッテリー残量を確認する	トップボタンを押し、ディスプレイでバッテリーの充電レベルを確認します。	緑色: 残り1時間以上 黄色: 残り0.5~1時間 赤色: 残り0~0.5時間
ストレージの残りの容量を確認する	トップボタンを押し、ディスプレイで使用されているローカルストレージの容量を確認します。	緑色: 録画残り1時間以上 黄色: 録画残り0.5~1時間 赤: 録画残り0~0.5時間

カメラのサポートページから日常使用ガイドをダウンロードして印刷し、カメラユーザーの日常業務に役立ててください。

AXIS W102 Body Worn Camera

日常的な使用



使用ガイド

シフトの開始

新規のシフトを開始する前に、いくつかの確認を行うことが推奨されています。

- カメラをドッキング解除する前に、ユーザー名が表示されていることを確認してください。これはバッテリーが充電され、すべてのファイルが転送され、ソフトウェアが最新の状態であることを示します。
- 自己割り当てによるカメラの割り当てを使用している場合は、RFIDリーダーで自己割り当てタグをタップします。自己割り当て済みカメラのディスプレイが緑色に点灯し、ユーザー名を表示し、ドッキング解除の準備ができていることを示します。カメラのドッキング解除は、自己割り当てタグをタップしてから15秒以内に行う必要があります。カメラの自己割り当てを行えるのは、一度に1人のユーザーのみです。
- カメラをホルスターセンサーに接続する場合は、カメラをドッキング解除してから10分以内に、ホルスターセンサーがカメラの範囲内にあることを確認してください。通常の場合で、範囲は5～10 m (16～33フィート) です。
- カメラのドッキングを解除すると、カメラが再起動します。設定もよりますが、再起動には最長40秒かかり、その後カメラの使用準備が整います。

AXIS W102 Body Worn Camera

日常的な使用

- 乾いた研磨剤のない布を使用して、レンズウィンドウを拭きます。クリーニングの推奨事項について詳細については、を参照してください。
- 必要に応じてAXIS Body Worn Assistantのライブビューを使用してカメラの画像を確認し、カメラが正しく動作しているか、カメラの向きに問題がないかを確認します。詳細については、身体装着型ソリューションマニュアルで*AXIS Body Worn Assistant*を参照してください。

シフトの終了

重要

シフト後は常に装着式カメラをドッキングします。これにより以下が保証されます:

- カメラのバッテリーは次のシフトの前に充電されている
- すべてのコンテンツがシステムコントローラーにアップロードされる
- カメラのソフトウェアが最新である
- ユーザー構成とカメラ設定がシステムに同期されている

- カメラをドッキングすると、カメラが再起動します。カメラが正しくドッキングされていることを確認するために、ディスプレイが再び表示されるまでさらに10秒待ちます。
- 消耗したバッテリーを完全に充電するのにかかる時間は、充電する環境の温度によって異なります。詳細については、データシートをご確認ください。
- 録画されたビデオのアップロードにかかる時間は一律ではありません。一例として12時間分の録画ビデオの場合、ビデオ録画のビットレートにより異なりますが、システムコントローラーへのアップロードに約30分かかる可能性があります。

バッテリーの状態

製品の寿命を通して最適なバッテリー容量を確保するため、通常の使用に従って以下の推奨事項に従ってください。

注意

- カメラは必ず、製品のデータシートに明記されている動作温度範囲内でご使用ください。指定された温度範囲外でカメラを使用すると、バッテリーが損傷します。
- カメラの充電は必ず、製品のデータシートに明記されている充電温度範囲内で行ってください。指定された温度範囲外でカメラを充電すると、バッテリーが損傷します。
- カメラを車の中に放置しないでください。駐車した車両の温度は、指定の温度範囲を超える場合があります。
- バッテリー残量が少ない状態でオフになっているカメラは、できるだけ早く充電してください。バッテリーは時間の経過とともに放電するため、予想されるバッテリー寿命が短くなります。
- カメラを45日以上充電しないでください。バッテリーの予想寿命が短くなる可能性があります。

製品の耐用年数を通して最適なバッテリー容量を確保するには、保管に関する以下の推奨事項に従ってください。

AXIS W102 Body Worn Camera

日常的な使用

注意

- カメラを保管する前に必ず、AXIS Body Worn Managerを使用して装着式システムからカメラを取り外してください。システムからカメラを取り外すと、カメラは配送モードになり、バッテリーレベルが正常に保たれます。
- カメラは必ず、製品のデータシートに明記されている保管温度範囲内で保管してください。推奨温度は、短期保管(3か月未満)と長期保管(3か月以上)で異なります。指定された温度範囲外でカメラを保管すると、バッテリーが損傷します。
- バッテリーを完全に充電した状態でカメラを保管しないでください。バッテリーの予想寿命が短くなります。
- バッテリー残量がない状態でカメラを保管しないでください。バッテリーの予想寿命が短くなります。
- 3か月以上保管する場合は、3か月ごとに充電してください。
- カメラを湿気の多い環境で保管しないでください。バッテリーの放電率が上がる可能性があります。
- バッテリーを放電させて再度充電するため、少なくとも年に1回はカメラを使用してください。これにより、バッテリーを活性化させ、エネルギーを回復させることができます。

バッテリーの状態の詳細については、axis.com/learning/white-papers/にアクセスし、*Battery health in body worn cameras*(装着式カメラのバッテリーの状態)を検索して、見つかったホワイトペーパーを参照してください。

バッテリーを交換する

AXIS TW1906 Battery Kit 5Pを使用して、装着式カメラのバッテリーを交換できます。バッテリーを交換する前に、[AXIS TW1906 Battery Kit 5Pサポートページ](#)で利用可能なインストールガイドをお読みください。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

help.axis.com/?piald=91063§ion=replace-the-battery

重要

- バッテリーを交換する際は、静電放電(ESD)の発生を避けるための予防措置を講じてください。
- 3年間の保証期間中は、3.7VID1058バッテリーを交換しないでください。Axis(またはAxisに代わるRMAパートナー)以外が3年間の保証期間中にバッテリーの交換を行った場合、メインアイテムの保証は無効になります。バッテリーやサービスに関連事項については、Axisサポートまたは販売店にお問い合わせください。

清掃

カメラの清掃

- 研磨剤のない、溶剤を含まない中性石鹼または洗剤を水と共に使用します。
- 柔らかいマイクロファイバーの布、または湿った非研磨スポンジを使用してください。
- ウォータースポットを防ぐため、柔らかい布でふき、乾かしてください。

AXIS W102 Body Worn Camera

日常的な使用

注意

- ・ 素材の劣化を防ぐために、ガソリン、ベンジン、アセトンなどの刺激の強い洗浄剤は絶対に使用しないでください。
- ・ カメラのクリーニングに研磨剤を使用しないでください。
- ・ 腐食や接続不良を引き起こすため、ドッキングコネクタに洗剤を含んだ水は絶対に使用しないでください。

カメラの除菌

- ・ カメラの外側の表面には、最大50%のイソプロピルアルコールを含む除菌製品を使用してください。
- ・ 柔らかいマイクロファイバーの布、または非研磨スポンジで塗布します。

ドッキングステーションの清掃

ドッキングステーション外部の表面の清掃は、次のように行います。

- ・ 研磨剤のない、溶剤を含まない中性石鹼または洗剤を水と共に使用します。
- ・ 柔らかいマイクロファイバーの布、または湿った非研磨スポンジを使用してください。
- ・ ウォータースポットを防ぐため、柔らかい布でふき、乾かしてください。

ドッキングベイの内部を清掃するには、次のようにします。

- ・ 電子部品向けのエアダスターを使用して、ポゴピンの間や周りの埃を清掃します。
- ・ 乾いた布を使用して、ポゴピンを慎重に清掃します。
- ・ 清掃後、すべてのポゴピンが上の位置に戻っているのを確認します。

注意

- ・ 素材の劣化を防ぐために、ガソリン、ベンジン、アセトンなどの刺激の強い洗浄剤は絶対に使用しないでください。
- ・ ドッキングステーションの清掃に研磨剤を使用しないでください。
- ・ 腐食や接続不良を引き起こすため、ドッキングベイ内部のポゴピンに洗剤を含んだ水は絶対に使用しないでください。

カメラの充電

身体装着式カメラを充電する際は、必ず次の機器を使用してください。

- ・ 互換性のあるAxis docking station
- ・ 5 V DC出力の携帯電話チャージャー
- ・ 5 V DC出力バッテリー

動作時間

動作時間は、装着式カメラの使用方法によって異なります。動作時間の制限要因としては、バッテリー容量とストレージ容量があります。これらはそれぞれ消費電力と録画ビットレートの影響を受けます。

注意

充電時周囲温度が35° Cを超える場合、バッテリーはフル充電の70%までしか充電されず、稼働時間も大幅に短くなります。

消費電力を増加させる要因は次のとおりです。

AXIS W102 Body Worn Camera

日常的な使用

場所のデータ - カメラのポジショニングシステムがオンになっている場合。

ワイヤレス接続 - AXIS Body Worn Live、AXIS Body Worn Assistantを使用している場合、またはブロードキャストをオンにしている場合。

センサーカメラ - センサーカメラを装着式カメラに接続している場合。

屋外での使用 - カメラを屋外で使用すると、LEDディスプレイの強度が高くなり、消費電力が増加します。

温度 - +25° Cが最適な動作温度です。これを上回る、または下回る温度でのカメラの使用は、バッテリー容量に影響します。

動作 - シーン内での動きの増加、またはカメラの動き。カメラプロセッサは、シーン内での動きに応じて電力を使用します。

画像解像度 - 高い録画解像度。

電子動体ブレ補正 - 電子動体ブレ補正をオンにしている場合。

録画のビットレートを増加させる要因は次のとおりです:

動作 - シーン内での動きの増加、またはカメラの動き。

画像解像度 - 高い録画解像度。

ライト - 低光量は、画像のノイズを増大します。

撮影シーンの複雑さ - 一般的なオフィスなど、被写体と色がほとんどないシーンでは、より複雑な撮影シーンよりもビットレートが低くなります。

AXIS W102 Body Worn Camera

トラブルシューティング

トラブルシューティング

装着式カメラエラーフィードバック

装着式カメラのフィードバックを使用して、さまざまなエラーを特定します。以下の表に、カメラのさまざまな動作、その意味、問題の対処方法を示します。

動作	その意味	対処方法
カメラがドッキングされています。		
<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイは黒です。 	ユーザーがカメラに割り当てられていません。	<ul style="list-style-type: none"> 固定カメラの割り当てを使用している場合は、1人のユーザーをカメラに割り当てます。<i>カメラへのユーザーの割り当てを参照してください。</i> 自己割り当てによるカメラの割り当てを使用している場合は、カメラの自己割り当ての準備が整っていることを示しています。
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン: 点滅 	カメラが装着式システムに追加されていません。	カメラを装着式システムに追加します。 <i>カメラを追加を参照してください。</i>
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン: 点灯 	一般的なエラー。	<i>一般的なトラブルシューティングの手順を試してください。問題が解決しない場合は、axis.com/supportを参照してください。</i>
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン: 点灯 	システムコントローラーへの接続が失われました。	装着式カメラとドッキングステーションの間の接続を確認してください。ドッキングステーションとシステムコントローラー間の接続を確認してください。システムコントローラーが正常に設定されていることを確認します。 <i>ダッシュボードを参照してください。</i>
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン: 点滅 ビープ音: 連続 	バッテリーが充電されていません。	<i>一般的なトラブルシューティングの手順を試してください。問題が解決しない場合は、axis.com/supportを参照してください。</i>
カメラのドッキングが外れている:		
<ul style="list-style-type: none"> フィードバックはありません。 カメラが起動しません。 	このカメラは配送モードになっています。 ¹	カメラを装着式システムに追加します。 <i>カメラを追加を参照してください。</i>
	カメラのバッテリーが消耗しています。	カメラを充電します。
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン: 点灯 ビープ音: 短い音2回、長い音1回 ブザー音: 短い音2回、長い音1回 	録画できない、SWエラー、またはその他の動作エラー。	<i>一般的なトラブルシューティングの手順を試してください。問題が解決しない場合は、axis.com/supportを参照してください。</i>

AXIS W102 Body Worn Camera

トラブルシューティング

動作	その意味	対処方法
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン: 点灯 ビープ音: 2 x 3 ブザー音: 2 x 3 	ユーザーがカメラに割り当てられていません。	カメラをドッキングしてユーザーをカメラに割り当てます。 カメラへのユーザーの割り当てを参照してください。
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン: 点灯 ビープ音: 2分おきに1回(定期的)、または1分おきに3回(定期的に強まる) ブザー音: 2分おきに1回(定期的)、または1分おきに3回(定期的に強まる) 	バッテリー残量がもうすぐなくなります。	この動作は、カメラプロファイル設定の [Low battery warning (バッテリー残量低下警告)] が、[Periodic (定期的)] または [Periodic reinforced (定期的に強まる)] に設定されている場合にのみ発生します。カメラの充電が必要です。カメラがドッキングステーションに配置されている場合は、正しくドッキングされていることを確認してください。
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン: 点灯 ビープ音: 短い音2回、長い音1回 ブザー音: 短い音2回、長い音1回 	ストレージが満杯で、録画ができない。	カメラをドッキングして、録画をオフロードします。

1. 装着式カメラは、ドッキングして装着式システムに追加するまで、配送モードです。配送モードは、輸送や保管に使用される省電力モードです。

技術的な問題、ヒント、解決策

問題	原因	解決策
カメラがオンにならない。	カメラが配送モードになっています。	カメラを装着式システムに追加する手順については、 <i>カメラの追加</i> を参照してください。
	カメラのバッテリーが切れています。	カメラを充電します(を参照)。前述の方法で解決しない場合は、次の通りにします。 <ol style="list-style-type: none"> カメラの電源ボタンを4秒間長押しします。 カメラをドッキングし、充電が完了するまで待ちます。 カメラのドッキングを解除し、カメラが再起動するのを待ちます。 また、ドッキングステーションにアクセスできない場合には、次の手順に従ってください。 <ol style="list-style-type: none"> カメラの電源ボタンを4秒間長押しします。 USB充電器を使用してカメラを充電します。を参照してください。
カメラが録画しません。	ストレージに空きがありません。	カメラをドッキングしてください。

AXIS W102 Body Worn Camera

トラブルシューティング

プリバッファビデオが完了していません。プリバッファ時間が、AXIS Body Worn Managerで設定された時間より短くなっています。	カメラがオンになった直後、または前回の録画が終了した直後に録画を開始します。	-
	前回の録画が終了した直後に録画を開始しました。	-
	動きが激しい、または低光量の非常に複雑な撮影シーンで最大解像度1080pを使用すると、プリバッファメモリーが満杯になる可能性があります。	-
画像がかすんで見えます。	レンズが汚れています。	レンズのクリーニング方法については、を参照してください。
	保護フィルムがレンズウィンドウに残っています。	保護フィルムをはがしてください。
ディスプレイが動作しません。	カメラがサイレントモードで、ディスプレイがオフになります。	トップボタンを2秒間押し続けます。を参照してください。
録画に音声がありません。	カメラプロファイルで音声がオフになっています。	AXIS Body Worn Managerのカメラプロファイルで音声が入っていることを確認してください。
録音のオフロードが遅い。	同時負荷オフロードは、多くの場合、転送速度に影響します。	AXIS Body Worn Managerでカメラステータスを確認します。録画が転送されるまで待ちます。
	カメラとドッキングステーションの間の接続に問題があります。カメラが正しくドッキングされていません。ドッキングコネクタが汚れているか、摩耗しています。	すべてのコネクタを確実に清潔に保ってください。を参照してください。
カメラはシステムによって検出されず、AXIS Body Worn Managerに表示されません。	ドッキングステーションは、ルーター経由でシステムコントローラーに接続されています。	ネットワークでIPv6を有効にします。
ユーザーがリーダーのRFIDタグをタップした場合 (自己割り当てを使用している場合)、そのユーザーにはカメラは割り当てられません。	さまざまな理由が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> このユーザーはすでにドッキングされていないカメラに割り当てられています。 現在、使用の準備が整っているカメラがありません。十分なストレージとバッテリーがあり、残りのシステムと同じAXIS OSバージョンを搭載している場合、カメラは使用する準備ができています。 このRFIDタグがシステムに登録されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 割り当て済みのカメラをドッキングしてください。 カメラの使用準備が整うまで待ちます。 RFIDタグをシステムに登録します。

AXIS W102 Body Worn Camera

トラブルシューティング

<p>場所データを録画していません。</p>	<p>カメラの起動後、最初のGPS位置を受信するまでにかかる時間は屋外環境によって異なります。たとえば、高い建物や大気の湿度が原因で、最初のGPS位置の取得にかかる時間が長くなる可能性があります。</p>	<p>-</p>
	<p>カメラプロファイルで位置情報データがオフになっています。</p>	<p>カメラプロファイルに移動し、[Location data (位置情報データ)] をオンにしてください。 「カメラプロファイルの設定」を参照してください。</p>
	<p>装着式システムの時刻が間違っています。</p>	<p>正しいシステム時刻を設定してください。日付と時刻を調整を参照してください。</p>
<p>カメラを削除できません。</p>	<p>AXIS Body Worn Managerで削除する前に、拡張システムコントローラーがシステムから物理的に取り外されています。これにより、転送ステータスがシステムで確認されません。</p>	<p>すべてのコンテンツがコンテンツ送信先に転送されたことを確認するには、拡張システムコントローラーをシステムから物理的に取り外す前に、AXIS Body Worn Managerでコントローラーを削除します。その後、カメラを取り外すことができます。</p>
<p>カメラのステータスが [In safe mode (セーフモード中)] です</p>	<p>カメラが8週間ドッキング解除されている場合、セキュリティ上の理由からカメラはセーフモードになります。</p>	<p>「カメラをシステムに戻す」を参照してください。</p>
<p>カメラが充電されません。</p>	<p>カメラが正しくドッキングされていないか、ドッキングステーションに問題があります。</p>	<p>以下のように対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カメラをドッキング解除した後、適切にドッキングします。 2. カメラのコネクタとドッキングベイのポゴピンを掃除します。手順については、を参照してください。 3. 他のカメラを正常に接続できる別のドッキングベイに、このカメラをドッキングします。カメラが充電またはファイルのオフロードを開始した場合は、元のドッキングベイに障害があります。したがって、ドッキングステーションを交換する必要があります。
<p>カメラがファイルをオフロードしません。</p>		

